



令和5年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和5年2月14日

上場会社名 極東産機株式会社 上場取引所 東
コード番号 6233 URL <https://www.kyokuto-sanki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771
四半期報告書提出予定日 令和5年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第1四半期の連結業績（令和4年10月1日～令和4年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第1四半期	2,170	△2.8	30	△29.0	20	△34.5	1	△91.3
4年9月期第1四半期	2,233	8.1	43	236.5	30	36.2	14	50.1

(注) 包括利益 5年9月期第1四半期 4百万円 (△76.1%) 4年9月期第1四半期 17百万円 (55.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第1四半期	0.23	—
4年9月期第1四半期	2.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第1四半期	10,416	2,791	26.8
4年9月期	10,430	2,841	27.2

(参考) 自己資本 5年9月期第1四半期 2,791百万円 4年9月期 2,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
5年9月期	—	—	—	—	—
5年9月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年9月期の連結業績予想（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	6.4	350	53.2	305	56.6	200	39.4	37.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年9月期1Q	5,391,000株	4年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	5年9月期1Q	28株	4年9月期	28株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	5年9月期1Q	5,390,972株	4年9月期1Q	5,390,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の影響、ロシアのウクライナ侵攻、国際的なサプライチェーンの停滞、外国為替の大幅な変動、消費財をはじめとした物価高騰、原材料や商品の仕入れ納期長期化と値上げのダブルパンチ等、依然として不確実な環境が続きましたが、「行動制限のない・・・」の掛け声のもと徐々にコロナショック前の社会活動が戻りはじめ、景気は緩やかな回復傾向となりました。

そうした経営環境の中、当社におきましては、インダストリーセグメントが前期からの受注残に支えられて好調に推移しましたが、プロフェッショナルセグメントは計画を上回ったものの前年同期は下回り、ニュー・インダストリーセグメントも前年同期を下回りました。この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,170百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益30百万円（同29.0%減）、経常利益20百万円（同34.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円（同91.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は、新総合カタログ発刊前、すなわち値上げ前の駆け込み受注が令和4年9月に積み上がった反動で前年同期の売上は下回ったものの、新総合カタログの発刊効果に加え、同カタログにおける価格の見直しも受け入れられて、期初計画の売上を上回りました。リアルの大規模展示会が復活しつつあり、今後もリモート営業方策との相乗効果を発揮して参ります。一方、畳事業ではリモート営業方式での営業活動のさらなる展開等により、畳店の「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（中小企業庁）及び「事業再構築補助金」（中小企業庁）申請における当社機器使用の案件採択は順調ですが、補助金交付時期の影響等で第2四半期連結会計期間への売上げれ込みが発生しました。その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は1,593百万円（前年同期比8.4%減）となり、営業利益29百万円（同38.7%減）となりました。

②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、フィットネスクラブ向けの商品が好調で、COVID-19の影響を受けていた棺用畳の需要も持ち直し始めましたが、住宅向けの畳替え需要は依然としてCOVID-19の影響で低迷し、また、円安の影響で輸入商材の損益悪化が続きました。ソーラー・エネルギー事業は、SDGs推進の観点から期待する法人向け市場の開拓はまだ不十分ですが、中規模案件の工事着工が増加し好調に推移しました。メガソーラー発電事業は順調に稼働しております。その結果、コンシューマセグメントの売上高は198百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失2百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

③インダストリーセグメント

産業機器事業は、主要製品である二次電池製造装置のリピート受注や、その他の生産設備案件の引き合いが増加し、かねてからの受注残にも恵まれて好調に推移しました。食品機器事業につきましても、大手飲食チェーンからのマルチディスプレイの引き合いは徐々に回復してまいりました。その結果、インダストリーセグメントの売上高は300百万円（前年同期比112.7%増）、営業利益27百万円（前年同四半期は営業損失5百万円）となりました。

④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付けております。得意とする自動車関連業界に加えて、住設機器関連業界の開拓を進めておりますが、当期の引き合いは順調でありましたが、大型案件の受注残が乏しく売上は低迷しました。その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は76百万円（前年同期比50.6%減）となり、営業損失23百万円（前年同四半期は営業利益1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ13百万円減少し、10,416百万円となりました。資産のうち、流動資産は、売上債権が203百万円減少しましたが、棚卸資産が194百万円増加、現金及び預金が71百万円増加したこと等により、39百万円の増加となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が34百万円減少、無形固定資産が11百万円減少したこと等により、53百万円の減少となりました。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ35百万円増加し、7,625百万円となりました。負債のうち、流動負債は、1年内返済予定の長期借入金が55百万円増加しましたが、その他(未払金)が336百万円減少、賞与引当金が86百万円減少したこと等により、392百万円の減少となりました。固定負債につきましては、主に長期借入金が423百万円増加したことにより、427百万円の増加となりました。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、2,791百万円となりました。これは、主に利益剰余金が52百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和4年11月15日の「令和4年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,497,062	1,568,906
受取手形、売掛金及び契約資産	1,898,641	1,527,004
電子記録債権	1,026,000	1,193,876
商品及び製品	704,424	974,417
仕掛品	268,383	183,474
原材料及び貯蔵品	368,875	378,374
その他	180,204	156,580
貸倒引当金	△126	△97
流動資産合計	5,943,466	5,982,535
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,681,115	1,662,688
土地	1,415,008	1,415,008
その他（純額）	689,661	673,483
有形固定資産合計	3,785,785	3,751,179
無形固定資産		
のれん	78,143	75,701
その他	136,217	126,890
無形固定資産合計	214,361	202,592
投資その他の資産		
その他	488,938	482,313
貸倒引当金	△1,699	△1,699
投資その他の資産合計	487,239	480,613
固定資産合計	4,487,385	4,434,385
資産合計	10,430,851	10,416,921
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	920,510	777,946
電子記録債務	1,342,435	1,480,840
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	189,083	244,458
未払法人税等	24,893	8,379
製品保証引当金	1,940	1,630
賞与引当金	141,362	54,450
役員賞与引当金	10,600	2,100
その他	686,005	354,951
流動負債合計	5,016,830	4,624,756
固定負債		
長期借入金	1,929,159	2,352,931
役員退職慰労引当金	253,900	262,400
退職給付に係る負債	334,227	334,726
その他	55,445	50,453
固定負債合計	2,572,732	3,000,511
負債合計	7,589,563	7,625,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,769,343	1,716,664
自己株式	△20	△20
株主資本合計	2,881,499	2,828,819
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,641	3,785
退職給付に係る調整累計額	△42,852	△40,951
その他の包括利益累計額合計	△40,210	△37,166
純資産合計	2,841,288	2,791,653
負債純資産合計	10,430,851	10,416,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	2,233,124	2,170,097
売上原価	1,539,976	1,479,441
売上総利益	693,147	690,656
販売費及び一般管理費	649,737	659,833
営業利益	43,410	30,822
営業外収益		
受取利息	372	316
受取配当金	296	215
スクラップ売却益	2,687	458
その他	2,522	2,124
営業外収益合計	5,879	3,115
営業外費用		
支払利息	4,988	6,110
売上割引	5,142	5,549
支払手数料	6,681	1,253
その他	1,716	889
営業外費用合計	18,529	13,802
経常利益	30,761	20,135
税金等調整前四半期純利益	30,761	20,135
法人税、住民税及び事業税	3,845	3,932
法人税等調整額	12,826	14,973
法人税等合計	16,671	18,905
四半期純利益	14,089	1,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,089	1,230

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益	14,089	1,230
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,171	1,144
退職給付に係る調整額	1,634	1,900
その他の包括利益合計	3,805	3,044
四半期包括利益	17,895	4,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,895	4,274
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	592,743	148,098	135,944	116,752	993,537
商品	1,130,240	36,162	1,507	25,378	1,193,288
その他	16,611	12,339	3,796	13,550	46,297
顧客との契約から生じる収益	1,739,594	196,600	141,248	155,680	2,233,124
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,739,594	196,600	141,248	155,680	2,233,124
セグメント利益又は損失(△)	48,700	△914	△5,837	1,462	43,410

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	499,299	146,827	294,706	35,981	976,815
商品	1,077,125	40,161	1,489	28,012	1,146,789
その他	17,535	11,843	4,249	12,864	46,492
顧客との契約から生じる収益	1,593,960	198,833	300,446	76,858	2,170,097
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,593,960	198,833	300,446	76,858	2,170,097
セグメント利益又は損失(△)	29,860	△2,685	27,225	△23,576	30,824

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	30,824
セグメント間取引消去	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	30,822